



# お腹がいたいとき

熱、吐き気、便秘、下痢がないか、よく観察しましょう。

お腹を抱えこむように痛がらないか、お腹が張っていないかも見てください。

赤ちゃんがわけもなく繰り返し泣くときは、お腹が痛い可能性があります。また、排便で治ることもあります。

我慢できる痛みになり、全身状態が良ければ、通常の診療時間内に受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わった場合は医療機関を受診してください。

こんなときは、医療機関を受診しましょう。

ぐったりして泣いてばかりいる。

また股の付け根がは腫れている。

赤ちゃんが足をちぢめて激しく泣いたり、間隔をおいて発作的に激しく泣く。

ウンチに血が混じっている。

お腹がパンパンに張っている。


お腹をかがめて痛がる。

お腹を触ると痛がる。

お腹が痛くて歩けない。

ジャンプ、ケンケンなど飛び跳ねるとお腹を痛がり、繰り返せない。

下痢、おう吐を伴っている。

症状の相談や、夜間・休日に受診できる医療機関の案内  
ふなばし健康ダイヤル 24(40ページ参照)  0120-2784-37



## ワンポイントアドバイス



3歳以下の子どもは受診前に下剤や<sup>かんちょう</sup>浣腸を使わないようにしましょう。



痛がり方の様子、息のにおいを観察しましょう。



腹痛が軽いときは、無理に食べさせないで水分を少しずつ与え、様子を見ましょう。



排便で治ることもありますので、トイレも促しましょう。